

神奈川県ビリヤード協会 -議事録-

2024.12.16 12:00～ Zoom 会議

参加者：安藤・崎村・板橋・田口・石井・杉万



| 1

議論内容：

1. 総会準備
2. 2 回目の授業の反省会
3. 全日本ジュニア9ボール

1. 総会準備 (石井)

1. 主要議題の決定

(1) 2024 年度の成果報告

主な成果は、予定されたスケジュール・イベントをすべて完了とビリヤード台を寄贈した藤沢総合高等学校へ計 4 回の授業実施（予定）。

(2) 2025 年度予算案と行事計画の策定

検討ポイントは、2024 年と同等のスケジュール・イベントで問題がないか確認と新規イベントや活動追加の必要性を議論。

=> 次年度も今年と同等レベルでスケジュール・イベントを組んでいくことで承認

(3) 中期計画の進捗確認と戦略修正

短期ビジョン（1 年以内）は C 級ビギナー戦の拡充：2024 年には 1 試合増やすことで達成。

店舗主導イベントのテスト開催が未実施（予算 16 万円）となっている。

中期ビジョン（3 年以内）は加盟店舗のネットワーク強化と店舗間交流イベントの提供とテストイベント成功事例の拡充。これは未済のため優先事項にするか？

=> 加盟店舗では主体的にイベントを実施できない。よって今後は理事会が主導で実施する方針と

する。また、レクリエーション大会のような一般の人にビリヤードを楽しんでもらえるような活動に予算を割り振りする。

(4) 役員改選

検討ポイントは理事会の今の状況と未来像。正会員の今の状況と未来像をどのように考えているか。

=> 正会員は理事会のメンバーの活動を観て自主的に手伝ってくれる人が集まってくれた。店舗のあいさつ回りをしても正会員をオーナーが出してくれる可能性は非常に低い。よって、今後も自主的に手伝ってくれる正会員がでてくるのを待つ。C級ビギナー戦などのイベント実施時に正会員になる呼びかけや資料を準備しておく。

(5) 規約修正

検討ポイントは至急の要件で理事会を通さずに事務局や理事長が使用する出費の許可が必要。

=> 規約を修正する方針。理事長の判断で1回の支出が3万円。年間の上限が10万円以内とする内容で組み込む。

2. 加盟店舗の参加促進

(1) 交流イベント予算の効果的活用として2024年末実施だった交流イベントの具体的なイベント企画を立案するか？

=> 加盟店舗の活動意欲が薄いので保留

(2) Zoomやメーリングリストを活用した意見交換の場の設置としてLINEグループに一部のメンバーを招待したが活用しきれていないのが現状。具体案として定期オンライン会議をしても参加したがない。

=> 無理をせずにLINEグループにて加盟店舗の意見を継続して収集する

3. スケジュールは以下の流れで進める。

1. 12月:

- アンケート内容の確定
- 質問内容や配布方法について理事会で確認。
- アンケートフォーム作成の準備（Googleフォームなど）。
- アンケート送付（オンライン）。

2. 1月:

- 回答回収と集計。
- 結果を理事会で検討し、総会議題に反映。
- 2024年度の成果報告草案の作成。

3. 2月～3月:

- 中期計画の進捗確認と2025年度の年間スケジュールの立案。
- 総会議題の最終決定。

4. 3月:

- 招集通知作成。
- 招集通知の送付。

5. 4月:

- 総会の準備。

アンケートについては、匿名で収集する。またアンケート収集の目的を明記する。

2. 藤沢総合高校の2回目の授業の反省会（安藤・板橋）

今回の授業は事前準備をしっかりできたことで満足いく講義ができた。プロ講師も熱心に講義してくれた。体育教師から今回の講義に対するフィードバックをもらい3回目の講義に要望を反映させ望みたい。

3. 全日本ジュニア9ボール（石井）

タスク/スケジュールをNBAや関東支部とすり合わせて決めた。作成した工程表に従いこれから進めていく。

